



令和5年度 神奈川県流域下水道事業会計

決算説明資料
～グラフで見る決算～

県土整備局

目次

1. 令和5年度における主な取組の内容	1
2. 決算の概要	8
3. グラフで見る決算書	11

(参考) 流域下水道事業の概要

流域下水道では、相模川・酒匂川流域内の各市町から発生する下水を広域的に幹線管きよで処理場に集め、効率的に処理しています。

酒匂川流域下水道

流域関連市町（3市7町）

小田原市、秦野市
南足柄市、松田町
大井町、二宮町、中井町
山北町、開成町、箱根町

相模川

相模川流域下水道

流域関連市町（9市3町）

相模原市、平塚市、藤沢市
茅ヶ崎市、海老名市、座間市
綾瀬市、厚木市、伊勢原市
寒川町、大磯町、愛川町

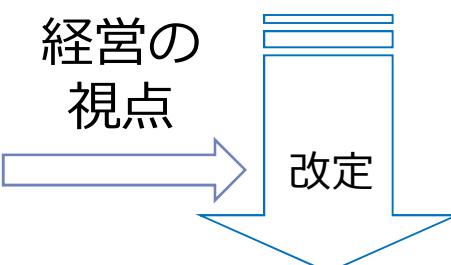


1. 令和5年度における主な取組の内容

神奈川県流域下水道中期ビジョンの改定に合わせ、経営の視点を強化し、令和2年4月に移行した公営企業会計と両輪で持続可能な流域下水道事業に取り組むため、10年間の主要施策と収支の見通し等を示した「神奈川県流域下水道事業経営ビジョン（令和3年3月策定）」により、流域下水道事業に取り組みました。

神奈川県流域下水道中期ビジョン 平成23～令和2年度

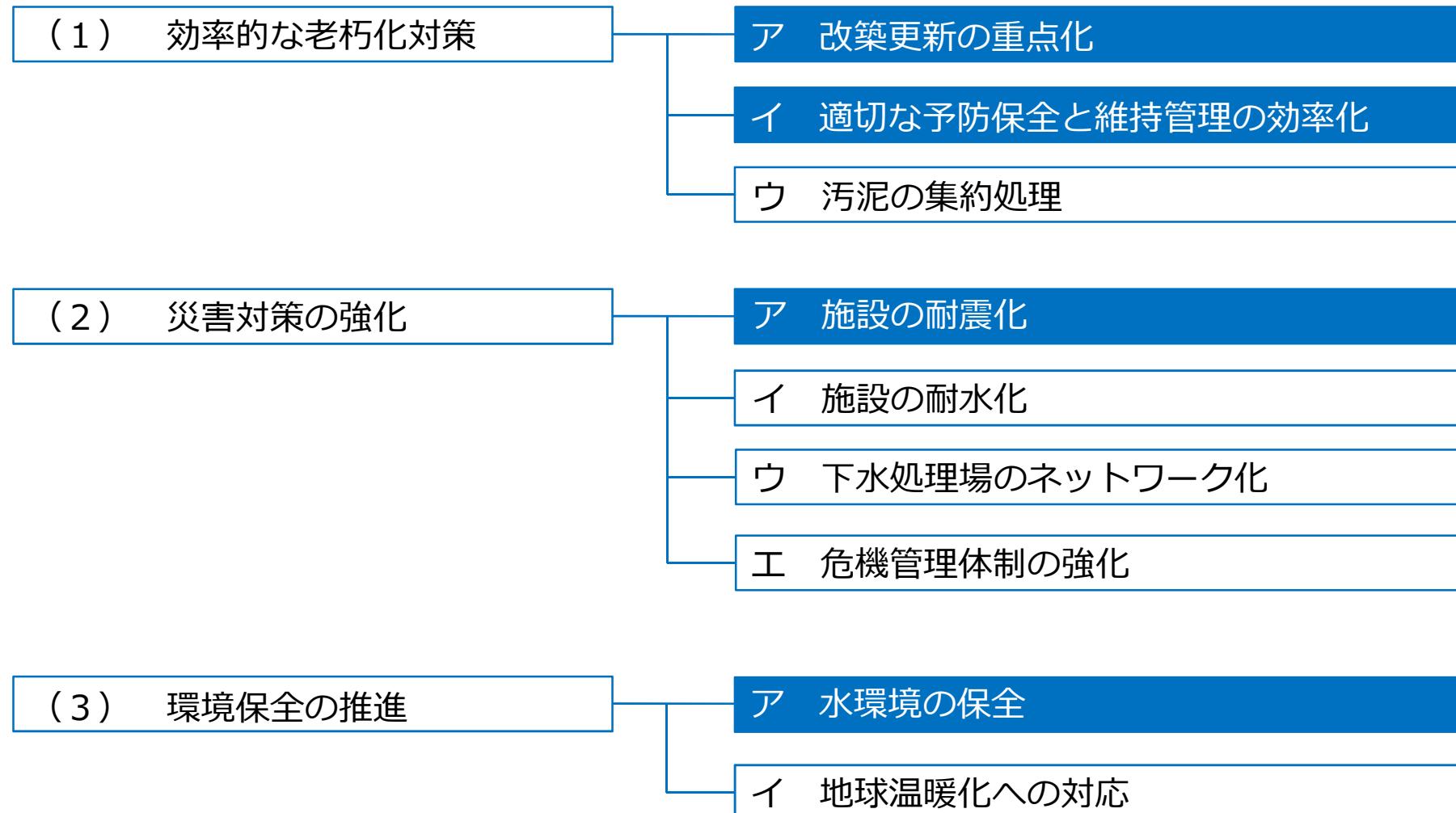
公営企業会計移行
令和2年4月



神奈川県流域下水道事業経営ビジョン 令和3～12年度

1. 令和5年度における主な取組の内容

＜経営ビジョンの主要施策＞



(1)効率的な老朽化対策

○改築更新の重点化

事業内容

- 令和5年度事業費：2,441,714千円
- 今後、老朽化する機械電気設備の増大が見込まれるため、経過年数や健全度による老朽化の度合いを評価するとともに、設備の故障などが発生した場合に利用者や自然環境等に与える影響を考慮し、厳選して改築更新に取り組む。

取組状況

- 処理場に流入する下水の量を調整する、ゲート設備の改築更新工事などを行った。



改築更新



最初沈殿池流入ゲートの改築更新（相模川流域下水道左岸処理場）

Kanagawa Prefectural Government

(1)効率的な老朽化対策

○適切な予防保全と維持管理の効率化 事業内容

- 計画的な点検と修繕による適切な予防保全により、故障等のリスクの軽減と施設の延命化を図る。また、ICTの活用や管理情報の電子データ化などによる効率的な維持管理に取り組む。

取組状況

- 処理場等において機械設備等の計画的な点検及び修繕を行った。また、維持管理の効率化を図るため、AI技術の導入可能性の検討を進めた。



機械設備の点検の様子

Kanagawa Prefectural Government



電気設備の点検の様子

(2)災害対策の強化

○施設の耐震化

事業内容

- 令和5年度事業費：702,568千円
- 大規模地震時においても下水処理を継続するため、処理場に下水を取り込み、処理、消毒、放流に係る施設の耐震化などを推進する。

取組状況

- 下水に含まれる砂などの不純物を取り除き、ポンプで処理に必要な高さまで汲み上げる施設の耐震工事を行った。



耐震化



耐震工事（酒匂川流域下水道右岸処理場）

(3)環境保全の推進

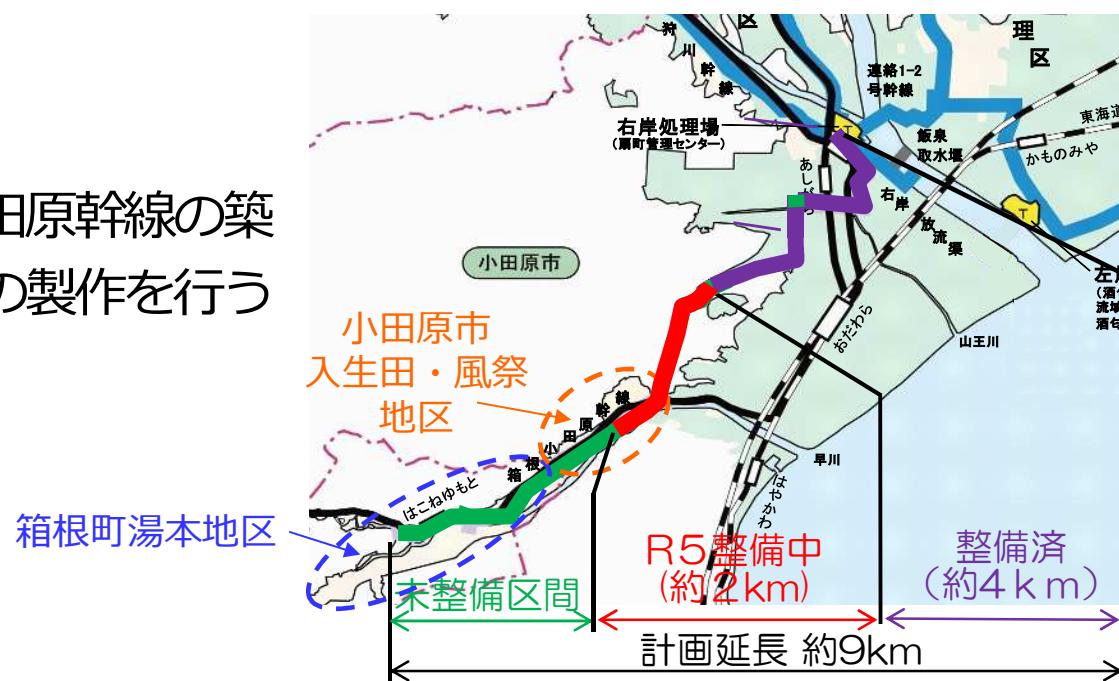
○水環境の保全

事業内容

- 令和5年度事業費：1,723,136千円
- 箱根の玄関口である湯本地区や、小田原市入生田地区、風祭地区における下水道普及のため、箱根小田原幹線を整備する。

取組状況

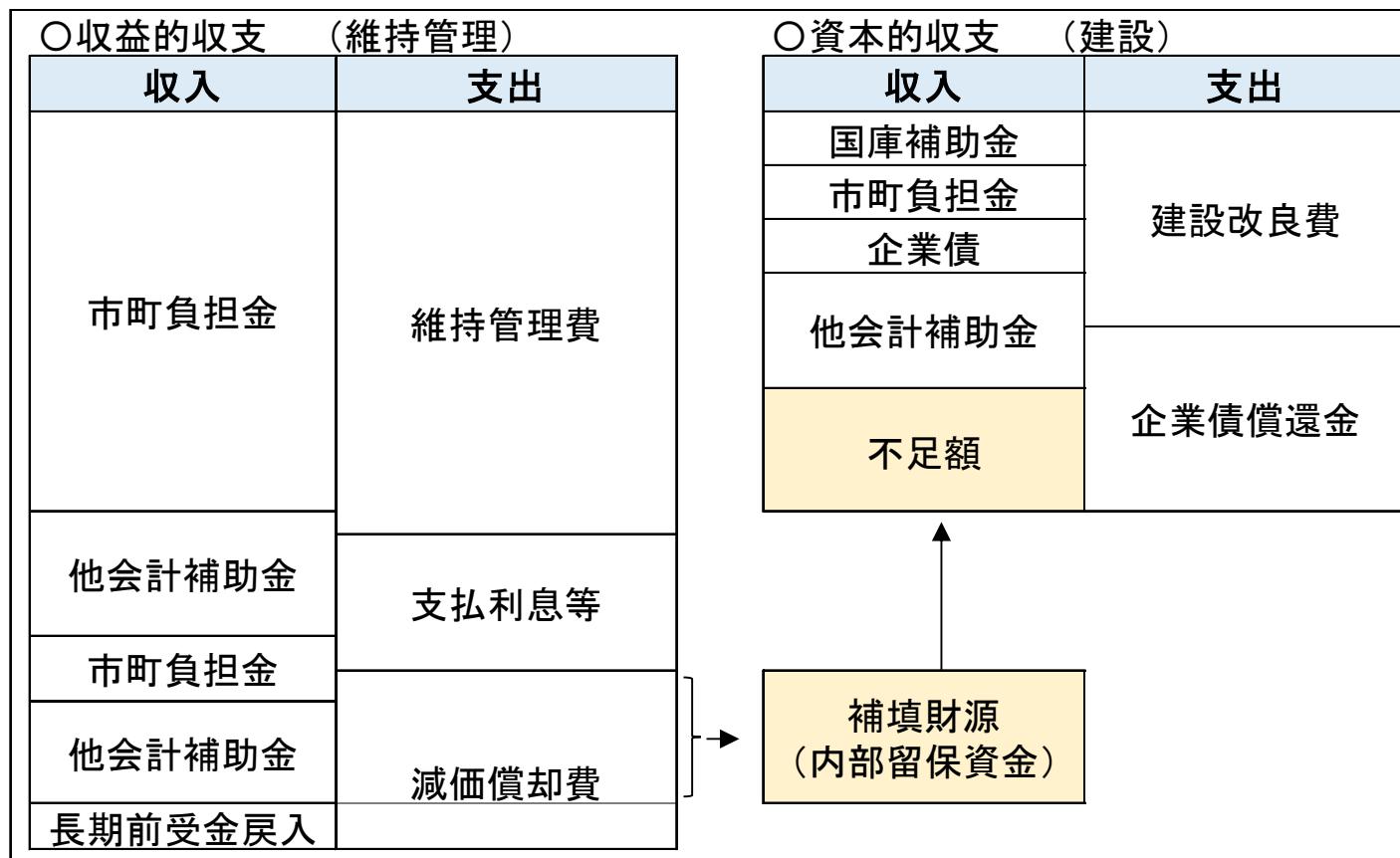
- 令和5年度は、箱根小田原幹線の築造に必要なシールド機の製作を行うなど、工事を進めた。



箱根小田原幹線の概要（酒匂川流域下水道） 6

(参考) 流域下水道事業会計の仕組み

- 収益的収支は、維持管理事業に係る収入および支出、
資本的収支は、建設事業に係る収入および支出
- 資本的収支では、支出が収入を上回るが、不足資金は、補填財源
(収益的収支で生じる内部留保資金) で賄われる。



2. 決算の概要

＜収益的収支＞

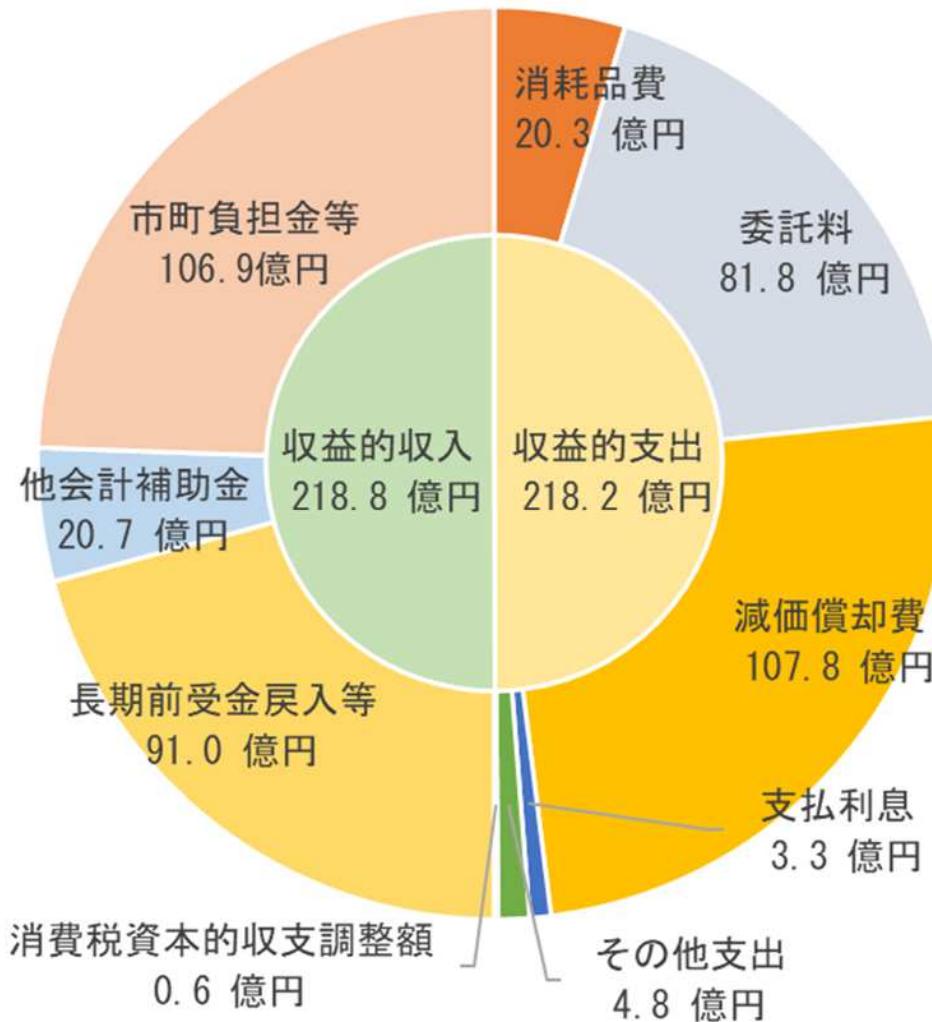
(単位：百万円)

科目等	令和5年度 決算額(A)	令和4年度 決算額(A)	増減 A-B
収 益 的 収 入 a	21,880	24,840	△ 2,960
営業収益	10,698	12,041	△ 1,343
市町負担金等	10,698	12,041	△ 1,343
営業外収益等	11,181	12,798	△ 1,617
他会計補助金	2,071	2,331	△ 260
長期前受金戻入等	9,109	10,467	△ 1,358
収 益 的 支 出 b	21,825	24,670	△ 2,845
営業費用	21,402	24,297	△ 2,895
消耗品費	2,039	3,688	△ 1,649
委託料	8,185	7,983	202
減価償却費	10,784	12,104	△ 1,320
その他支出	392	521	△ 129
営業外費用	423	373	50
支払利息	330	366	△ 36
その他支出	92	7	85
消費税資本的収支調整額 c	67	169	△ 102
当年度純利益又は純損失 d (a-b-c)	△ 13	0	△ 13

(注) 表及びグラフ等の数字は、端数切捨のため、合計額には一致しない箇所がある（次頁以降同様）。

2. 決算の概要

<収益的収支>

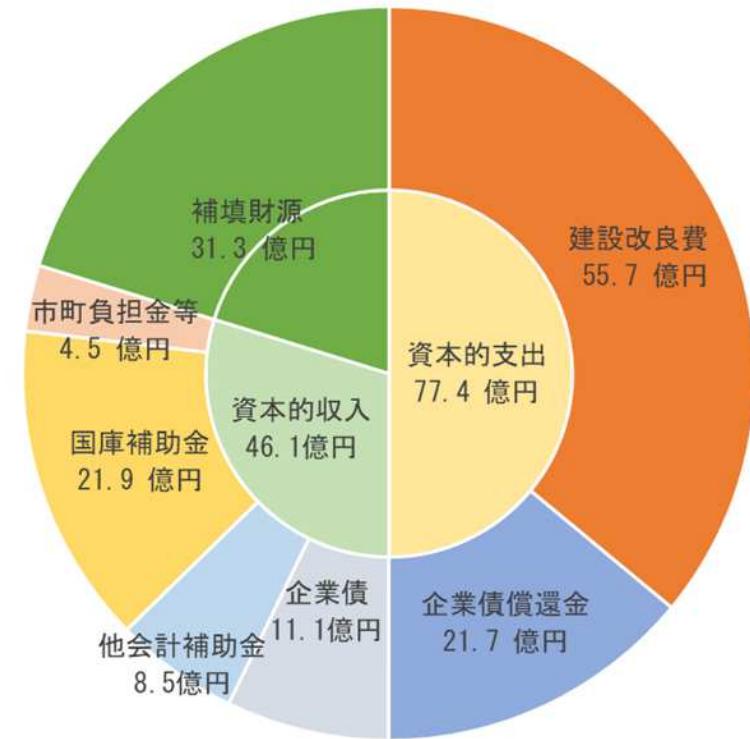


2. 決算の概要

〈資本的収支〉

科目等	令和5年度 決算額 (A)	令和4年度 決算額 (B)	増減 A-B
資本的収入 a (うち翌年度繰越額) b	5,857 (1,240)	5,777 (1,344)	80 △ 1,344
企業債	1,118	1,067	51
他会計補助金	909	797	112
国庫補助金	2,449	2,822	△ 373
市町負担金等	1,379	1,090	289
資本的支出 c	7,748	7,835	△ 87
建設改良費	5,577	5,591	△ 14
企業債償還金	2,171	2,244	△ 73
補填財源 (a-b-c) d	△ 3,131	△ 3,402	271

(単位：百万円)



※円グラフで示している資本的収入の額は、令和5年度の資本的支出に対する財源
(令和5年度決算額から翌年度繰越額に係る財源充当額を差し引いたもの)。

3. グラフで見る決算書

(1) 損益計算書グラフ



- 本県の流域下水道事業では、県及び市町との協議により、費用に応じて市町負担金等を収益にしているため、例年の決算では、損益は生じない。
- 令和5年度は、固定資産の無償譲渡による損失を計上したことにより、約0.1億円の損失が生じている。

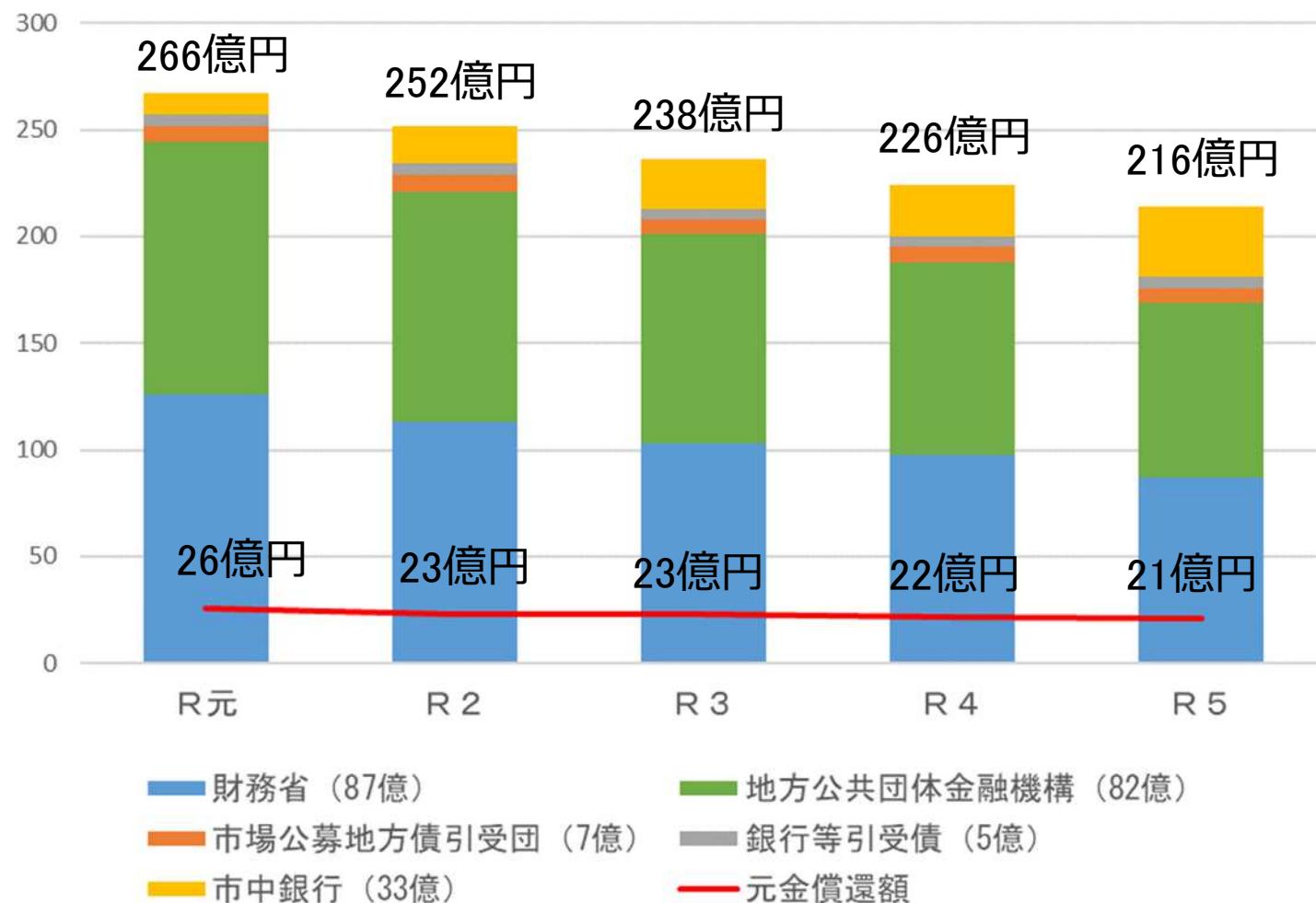
3. グラフで見る決算書

(2) 貸借対照表グラフ



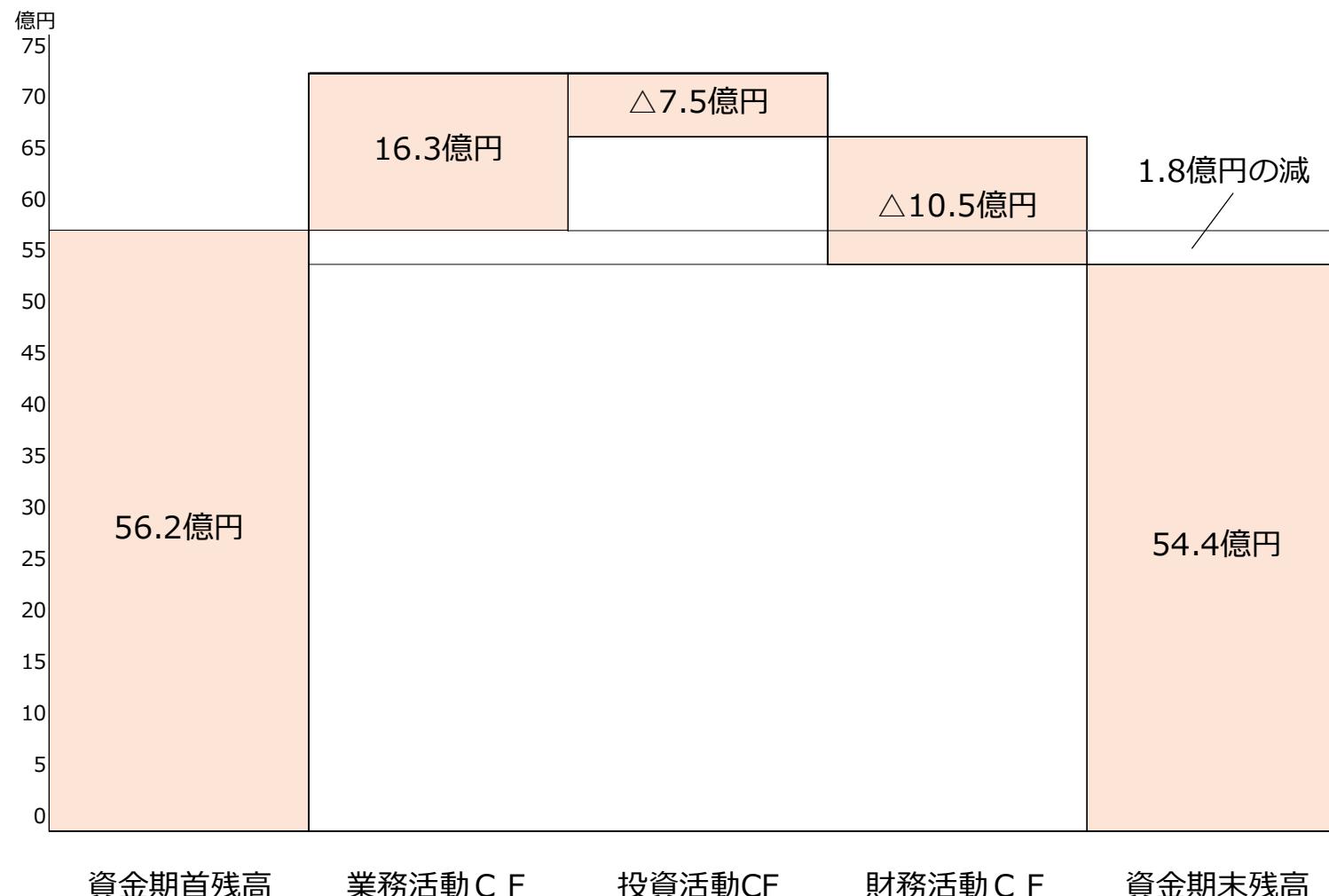
3. グラフで見る決算書

(3) 企業債残高の推移



3. グラフで見る決算書

(4) キャッシュフローグラフ



3. グラフで見る決算書

＜参考＞神奈川県流域下水道事業経営ビジョンにおける収支の見通しとの比較

(単位：百万円)

科目等		令和5年度 決算額(A)	令和5年度 経営ビジョン(B)	増減 A-B
収益的 収支	収益的収入 a	21,880	23,528	△ 1,648
	営業収益	10,698	12,266	△ 1,568
	市町維持管理負担金	10,698	12,266	△ 1,568
	営業外収益	11,181	11,261	△ 80
	長期前受金戻入	9,066	9,128	△ 62
	一般会計繰入金	2,071	2,127	△ 56
	その他の	42	6	36
	収益的支出 b	21,825	23,528	△ 1,703
	営業費用	21,402	23,192	△ 1,790
資本的 収支	維持管理費用	10,602	12,257	△ 1,655
	減価償却費等	10,800	10,935	△ 135
	営業外費用	423	336	87
	特別損失	0	0	0
	消費税資本的収支調整額 c	67	0	67
	当年度純利益又は純損失 (a-b-c) d	△ 13	0	△ 13
	資本的収入 e	4,616	9,242	△ 4,626
	企業債	1,118	1,846	△ 728
	国庫補助金	2,192	4,548	△ 2,356
資本的 収支	一般会計繰入金	853	976	△ 123
	市町建設負担金等	453	1,871	△ 1,418
	資本的支出 f	7,748	11,048	△ 3,300
	建設改良費	5,577	8,893	△ 3,316
	企業債償還金	2,171	2,156	15
	資本的収支財源過不足額(e-f) g	△ 3,131	△ 1,806	△ 1,325
	資本的収支不足額の補填財源	3,131	1,806	1,325

※ 資本的収入の額は、令和5年度の資本的支出に対する財源（令和5年度決算額から翌年度繰越額に係る財源充當額を差し引いたもの）。